

**Mid term** に入りました。アメリカにきて5ヶ月たち、時間の経過の速さを感じています。紅葉の季節になり、街路樹の木々もイリノイ大学のカラーであるオレンジ色になってきました。今月の報告書の内容としまして、留学の目的、授業の感想とまとめを報告させていただきます。

### 派遣留学の目的

私の留学期間内の目標は3つあります。第一の目標として、英語で自分の考えを相手に納得させる能力を身につけること。第二に、自分の専攻している、材料工学とくに、バイオマテリアルの基礎知識の拡充。第三の目標として、日本とアメリカの大学の授業形態の違いを学び、よい点を金沢工業大学に提言していくことです。以上が留学前の目標でした。

第一の目標のきっかけになったのは、**2002** 年度 **IJST** プログラムにプロジェクトパートナーとして参加したことでした。国際交流を通じて、英語で自分の考えを相手に納得させる能力を身につけたいと思ったからです。いまでも **IJST** プログラムで知り合った学生は、仲のよい友人であり、その一人である、**Euntae Song** (ウンテ・ソン) は、次のセメスターの **roommate** になる予定です。彼らから多くのことを吸収していき英語で自分の考えを相手に納得させる能力を伸ばしていきたいと考えています。これから、派遣、個人留学を目指す人、国際交流をしたいとおもう人は、ぜひ **IJST** や **ENGLISH LOUNGE** に参加することをお勧めします。

第二の目標は、自分の修士研究に役立つ授業を履修することですが、**Material science** のアドバイザーから **EPT** テストの結果から履修の許可がおりず基礎をもう一度、取り直してみてもはということ、今現在基礎の授業を履修しています。これに関しては相当悩みの種になっています。正直いうと、アメリカにきて基礎をもう一度やる必要があるのだろうか悩んでいます。それに拍車を掛けるように、自分の将来の進むべき道が見えにくくなっています。もう一度目標をしっかりと立て直していきたいと考えています。

第三の目標として、日本とアメリカの大学の授業形態の違いを学び、長所を金沢工業大学に提言していくことです。長所としては、アメリカの大学は、日本の大学より体系的な授業で、講義、ディスカッション、**Lab work** で、1つの授業になっていることではないでしょうか。何度もいうようですが、**TA** によるディスカッションや **Lab Work** はぜひ金沢工業大学の工学専門実験のように3年生時にするのではなく大学1年の授業から組み込んでいくべき授業だと思います。

## 授業の感想

**Mid Term** に入り日本でいう中間試験週間です、図書館には夜遅くまで、学生であふれかえっています。授業では相変わらず自分の英語力のなさを痛感するのですが、この学期が始まったころに比べると、**Hearing** は向上し、全部とまではいかないですが理解はできるようになりました。**Speaking** も **Lab Work** をする時には、問題ないのですが **Writing** に苦しんでいます。とくに **Lab Work** では、その場で **observation**, **Conclusion** を書きクラス時間内に提出しないといけないからです。この派遣留学は終わるころには、英語力 (**Hearing**, **Writing and Speaking**) が向上できたと実感できるように日々努力していきたいと考えています。

## まとめ

今月の報告書では、私の留学の目的、**Mid Term** に入って授業の感想を述べさせていただきました。**Mid Term** に入り自分の将来がアメリカにきて見えにくくなりましたが、もう一度しっかりと目標を建て直し、残りの2ヶ月の秋学期を集中していきたいと思います。